

会 議 録

会議の名称	令和5年度第3回行田市男女共同参画推進審議会	
開催日時	令和6年3月19日（火） 開会：午後1時30分・閉会：午後3時10分	
開催場所	行田市男女共同参画推進センター 2階 学習室	
出席者（委員）氏名	田代美江子委員（会長）、井上文子委員、茂木美智代委員、高野葉子委員、金子彰委員、根岸君枝委員、横田範博委員、堀越稔委員、加藤修一委員（名簿順、敬称略）	
欠席者（委員）氏名	山崎孝子委員（副会長）、中澤俊裕委員、袴田彩委員	
事務局	男女共同参画推進センター所長 堀口修司、主査 秋山純代	
会議内容	（1）第4次ぎょうだ男女共同参画プラン令和5年度進捗状況に対する行田市男女共同参画推進審議会の評価及び意見（案） （2）その他	
会議資料	①次第（当日配布） ②第4次ぎょうだ男女共同参画プラン令和5年度進捗状況に対する行田市男女共同参画推進審議会の評価及び意見（案）（当日配布） ③令和3年度分第3次ぎょうだ男女共同参画プラン進捗状況報告書に対する行田市男女共同参画推進審議会の評価及び意見（当日配布） ④第4次さいたま市男女共同参画のまちづくりプラン概要版（当日配布） ⑤第4次さいたま市男女共同参画のまちづくりプラン外部評価の実施方針・外部評価結果（当日配布） ⑥情報紙V I V A第46号（当日配布）	
その他必要事項	傍聴者 町田 光 氏（市議会議員）	
会議録の定	確定年月日	主宰者記名押印
	令和6年 月 日	会長 田代 美江子

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
事務局	<p>【 開会 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 挨拶（田代会長） ・ 欠席者の報告 ・ 配布資料の確認 ・ 議長の選出（田代会長） ・ 傍聴人 1 名
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本日の会議は過半数が出席しているので会議は成立している。また、非公開とする内容はない。なお、本日の傍聴希望は 1 名である。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議事（1）第 4 次ぎょうだ男女共同参画プラン令和 5 年度進捗状況に対する行田市男女共同参画推進審議会の評価及び意見（案）について、事務局に説明を求める。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議事（1）第 4 次ぎょうだ男女共同参画プラン令和 5 年度進捗状況に対する行田市男女共同参画推進審議会の評価及び意見（案）について説明。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本日いただいた意見を反映させていくので、何か質問等があれば願います。 ・ 昨年度までは全体に関わるものを表紙に記載し、3 ページ以降に個別のコメントを記載していたので違和感を覚える。 ・ 外部委員を入れた横断的なプロジェクトチームを作るというのは、どのような背景で出た意見なのか。また、現実的な要望なのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 横断的なプロジェクトチームについては、審議会と行政男女共同参画推進会議で意見交換を行うと、問題点や改善点が明確になるのではないかと考えた。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ どのような議論の中で出た意見か。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前回会議終了後に委員から出された意見である。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 意見を出した委員に説明を求める。
根岸委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料を見て、部署間に温度差があるとわかり、それを見直すのも結局は職員であることもわかった。どの部署であれ、内部職員だけの対策で

議長	<p>は閉鎖的になると考え、第三者を交えて違う視点での意見が出ることを意図したものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> よく理解できた。私が疑問に感じたことは、外部委員を入れた横断的なプロジェクトチームをどのレベルのものと考えているのかという点であった。 審議会としての意図が伝わり、実現してもらうために、どのように表現するかが一番重要である。この意見は、各部署によって差があることを前提として、部署ごとに外部の意見を入れるべきとの趣旨であるが、この文章だと、その差を解消するための、外部委員を入れた横断的プロジェクトチームだと読めてしまう。そのあたりを確認したく質問した。元々意図した意見と違っていれば訂正し、より良い表現があれば改善していくので、皆様ご協力をお願いします。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 各委員から提出された意見を事務局で編集する際、表現を変えていることがある。変更した方が良い文章があれば、意見を出していただきたい。
議長	<ul style="list-style-type: none"> この項目は重要なポイントではある。「内部職員だけでは差があると分かりました。内部職員だけではなく、外部の意見を取り入れる仕組みを作り、問題点を洗い出し、改善点を見つけ出す工夫をしてください。」ではどうか。
根岸委員	<ul style="list-style-type: none"> 表現が固くなると、行政側で難しくとらわれてしまうと思い、柔らかい表現をしたが、議長の表現の方が、意図するところに近いと思う。
議長	<ul style="list-style-type: none"> では、元の文章を活かした表現ではどうか。関連した意見があればお願いします。
横田委員	<ul style="list-style-type: none"> 私も横断的なプロジェクトチームは素晴らしいことだと思う。ただし、外部の人間を入れた場合に、話せる雰囲気になっているかが問題である。偉い方がいると、意外と本音が言えない雰囲気になるが、小規模な会議では、様々な意見が出てくるということもある。横断的にやっても良いが、その人材をどのように工夫するかが一番問題だと思う。文章どおりに行けば素晴らしいことだとは思いますが、運営していくのは大変ではないかと思う。
議長	<ul style="list-style-type: none"> 他に関連して意見はあるか。

井上委員	<ul style="list-style-type: none"> 根岸委員の元々の意見を聞きたい。
根岸委員	<ul style="list-style-type: none"> 「男女共同参画の推進状況は部署によって差があることがわかりました。どこの部署であっても、内部職員だけの対策では閉鎖的になるため、外部の方を入れたプロジェクトチームを作り、問題点を出してもらわないと、改善点が見えてこないと思いました。」
議長	<ul style="list-style-type: none"> 「差があると感じます。」ではなく「差があることがわかりました。」の方が良い。
根岸委員	<ul style="list-style-type: none"> 外部の方を入れたプロジェクトチームの外部というのは、私は何を指して良いのかわからなかったなので、私が初めてこの審議会に入ったときのことをイメージした。考えをまとめるまでに何十ページも書いた。会議を通じて、委員の皆様が真摯に取り組んで作り上げたものだと感じ、文章を見て勉強し、思ったことを意見した。
議長	<ul style="list-style-type: none"> 長く取り組んできた者として光栄である。
加藤委員	<ul style="list-style-type: none"> 根岸委員の説明の中に農業委員会の話があったが、このプロジェクトチームはまさに我々の審議会であると感じた。横断的というのは、縦割りになりやすい行政部署が壁を取り払い、一緒に考えるときなどによく使うものだが、行政的な言葉だと思うので、議長か根岸委員の表現が良いのではないか。
堀越委員	<ul style="list-style-type: none"> 私も同感である。プロジェクトチームと書くと、チームを1個作って終わりになってしまいかねない。こちらの提言としては、意見を取り入れる仕組みとして、全体的に伝わるようにした方が良いと思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 「男女共同参画への取組状況は、部署により差があることがわかりました。内部の意見だけでなく、外部の意見を入れる仕組みを作り、問題点を洗い出し、改善点を見つけ出す工夫をしてください。」でいかがか。
総員	<ul style="list-style-type: none"> 異議なし。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> では、そのように修正する。
議長	<ul style="list-style-type: none"> 他に意見はあるか。 男女共同参画の意識が浸透しつつあると思っている。各部局が男女共同

事務局	<p>参画プランへの理解を深め、趣旨に沿って努力をしていることへの評価を、最初に加えていただきたい。会議前に事務局から、男性の育児休業取得率向上について話があった。それも評価に加えて良いと思う。このことについて、事務局から説明をお願いします。</p> <ul style="list-style-type: none"> 第2回審議会において、昨年度10月、男性職員向けの育児参加休暇が創設され、その月の末には初めて取得した職員がいたという報告を受けた。育児休業は平成30年度から現在まで継続的に男性の育休取得が続いていることから、審議会で強く要望してきたことが実現しているということで、評価できるのではないかと。一方、育休を取得しない理由については、人事課は調査していないとのことなので、その調査を行い、より環境整備に努めるよう記載してはどうか。
議長	<ul style="list-style-type: none"> 良いと思う。他に意見はあるか。 「女性＝戦力」という表現が気になる。戦わなくても良いのではないかとということと、戦力にならないと存在意義がないのかとってしまう。「女性活躍」からイメージして出てきた表現だと思うが、女性活躍自体の取り組みが、賃金の発生しない、育児や介護を女性に負担させたままにした一方で、活躍する女性だけを持ち上げる、女性を二分するような問題のある政策だと思っている。ただし、様々な考え方もあるので、意見した方の考えを伺いたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 本日欠席の袴田委員の意見のため、原文を代読する。「今年度初めての参加でしたが、この男女共同参画推進審議会に女性の方が多く参画されていることに驚きました。市長さんが女性となり、女性＝戦力になるという根本からの発信をしてもらえたら意識も変わるかなと思います。行田市で男女共同参画社会の活躍がもっと地域の方にも目に留まるような活動があればいいなと思います。」事務局でもこの表現について議論したが、女性活躍のホームページに掲載もあることから、「女性＝戦力」という表現を採用した。
根岸委員	<ul style="list-style-type: none"> 女性の行田市長だから変わるという期待を込めて「女性＝戦力」を使っているのだと思う。ただし、活力などの別の表現の方が良いと思う。
議長	<ul style="list-style-type: none"> 「女性市長となり」も気になるが、女性が選ばれたことはとても意味のあることだからあって良いと思う。「女性市長となり、地域や企業で女性が活躍することの意義が発信できれば、意識が変わっていくと思います。」とするのはどうか。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ では、そのように変更する。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他に何かあればお願いします。
根岸委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5番目の意見の文末を「期待します」ではなく「取り組んでください」にしてはどうか。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 賛成する。いかがか。
茂木委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 私の意見だが、意義はない。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個別の意見一覧は付けるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 例年、重点施策ごとに各所属へ審議会からの意見として、一覧表を付けていた。しかし、今回は表紙に取りまとめたものを記載したいが、いかがか。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ その方が良いと思う。条例の適正運用とは何を指すのか、具体的な目標を設定するように文章に記していただきたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 承知した。記載から外された意見も大切なので、口頭で各所属に伝える。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ では、男女の業務を均等に割り振ることや、男女からそれぞれ意見を聞くことが男女共同参画の本質ではないと、伝えていただきたい。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他に意見はあるか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本日の議論をもとに修正したものを、皆様に送付するので、訂正や意見があればいただきたい。3月中に完成できるよう、よろしく願います。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本日の議事は終了である。(2) その他について何かあるか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 機構改革により、4月から部署の変更がある。人権推進課と統合してできる、人権・男女共同参画推進課が事務局となる。職員の配置は不明であるが、ご承知おきいただきたい。
横田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人権推進課と統合すると、事務局はどちらになるのか。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> 本部は今の人権推進課になり、人権担当と男女共同参画担当に分かれると思う。
井上委員	<ul style="list-style-type: none"> 約10年審議会委員を務めて来た、今の気持ちを伝えたい。男女共同参画推進審議会委員の任命当初は、男女共同参画の意識を市民に広めるためのものだと思っていた。しかしそうではなく、男女共同参画のプランを策定し、プランの進捗状況を評価するための審議会委員だということが、最近になってやっとわかってきた。各担当がプランに沿って取り組んでいても、果たして、それが市民への男女共同参画の意識啓発につながっているのか考えている。そこで、市政の上層部を招いた座談会を開き、男女共同参画についての議論を交わし、その特集記事を市報若しくは情報紙VIVAに掲載するのはどうか。市政の各部署の目的を外部から我々がチェックし、立派なプランができて、それが市民の生活に反映しているのか常々疑問に思っていた。
議長	<ul style="list-style-type: none"> せっかくなので、皆様に気持ちを述べていただこうと思う。
茂木委員	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画に向けて、私が一番大事に思うのは防災や民生委員のことである。細かく様々な部署の課題を取り上げるのも良いが、必要に応じた優先順位をつけて取り組んでほしいと感じている。
金子委員	<ul style="list-style-type: none"> どこの部署も一生懸命に取り組んでいると感じている。ただし、例えば審議会委員の女性率を上げるなどについては、部署によっては難しいところもあると思っている。私は公民館運営委員会にも所属しているが、委員を引き受けてくれる女性がない状況だ。まずは引き受けても良いと思ってもらえるような雰囲気作りをしていただきたい。
高野委員	<ul style="list-style-type: none"> 今小学校では卒業式の練習をしている。卒業証書を渡す順番や、座席の並び順などが全て五十音順でも、違和感なく進行できている。一つ一つの積み重ねが意識の理解に繋がると思うと、学校の中でできることはまだまだあるのだと感じている。中学校制服の女子スラックス導入も検討されていることなど、一つ一つが大切だと思っている。これからの子どもたちにもしっかりとバトンを回したいと思いながら会議に参加させていただいた。
根岸委員	<ul style="list-style-type: none"> 委員に任命間もない自分の意見が還元される雰囲気、参加しやすかった。先ほど、審議会に出席しやすい雰囲気づくりをしていただきたいと

<p>加藤委員</p>	<p>いう話があったが、少なくともここはそういう場だと思っているので、今後も変わらずにいただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> 4月から自治会長になるが、委員のなり手が本当にいない。極端な例だと、その集落で次の会長候補がいないので全体で自治会を辞めたいという話があると聞く。民生委員も大切な役割があるのになり手が少ないと聞く。そういう時代だと思っている。私は公募でこの審議会委員になったが、現役時代でも農業の男女共同参画に関係する仕事をしていた。そこで、最近の記事をひとつ紹介したい。栃木県日光市の農業委員会は、11人中5人が女性という全国で一番女性比率が高い。なぜ女性率がそんなに高いかという、農業委員長がとても行動力のある方で、農家の方へ農業委員になるようお願いを回ったというもの。努力の結果が女性の地位向上につながったと思っている。私も農業者であるため、この審議会はとても勉強になる。
<p>横田委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自治会長を務めて約10年経過する。東日本大震災後間もないことから、地域防災に力を入れてきたが、男女共同参画については考えてこなかった。しかし、この審議会委員に任命されてからは女性に対する意識が変わった。以前は1人の意見として聞いてたが、女性の目線が絶対に必要だと思いなおした。災害が発生したときには避難所が絶対必要になる。避難所の運営は、男性だけでできるものではない、女性の視点が必要になる。これからは自治会の中にも女性の力は絶対に取り込まなければならないと思い、社会福祉協議会と共同で、地域防災と福祉を兼ねた、そして民生も巻き込んだ地域防災に取り組んでいる。長野地区にある20自治会を絆で結ぶ活動について、市報や自治連だよりに記事があるので、参考になれば幸いである。
<p>堀越委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> 私も防災関係に女性の視点を取り入れなければならないと、改めて意識した。私は防災担当でもあるので、頭で理解しているが、現場の話として、大変参考になっている。
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> この審議会委員の任期は2年である。3月をもって皆様の任期が終了するため、推薦状を送付している。次回審議会がつつがなく開催できるよう願う。 市の機構改革と共に、基本構想の見直しをすることとなった。そのため、今年度始動して間もないが、第4次男女共同参画プランも一から見直すこととなる。ただし、あくまでも国や県の計画に基づいて市のプランが策定されるため、根本から変更されることはない。来年度はプラン策定

議長	<p>を中心に、プラン進捗状況の審議方法について効率化を図りたい。議長がさいたま市の具体例を、手元の資料をもとにご教示いただけるとのことなので、お願いします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会議資料④、⑤に基づき説明。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 残り時間で、第4次プランの重点施策15項目のうち、来年度取り組む4、5項目をピックアップすることは可能だろうか。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 難しい。ただ、アイデアを出し合うのは良いことである。例えば、今回の評価及び意見において気になる点を、来年度は評価するのはどうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 改善されない点を1年かけて指摘し続けられる、素晴らしい提案である。それでは、評価及び意見に掲載する部署を重点的に、来年度は目標値の設定や取り組みについて注視する。皆様にはチェック項目を一覧表にして、進行状況を確認していただく。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ それでは、第1回審議会でそのチェック項目について議論の後、評価に入ることにする。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本日の会議で出た意見をもとに修正したものを今から配布するので、訂正箇所があればご指摘願う。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 何か意見はあるか。他に意見がなければ、本日の議事は終了する。これをもって議長の任を解かせていただく。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 来年度もよろしくお願いします。以上をもって閉会とする。 <p>【 閉会 】</p>